

気象・水文予測情報の実践的活用に関する研究会

民間気象会社の役割

～開発者と利用者をいかに結びつけるか～

平成23年11月2日

日本気象協会

民間気象会社の役割

はじめに

1. 民間気象会社の役割

- －情報の流れと民間気象会社－
- －周辺環境の変化と求められる役割－

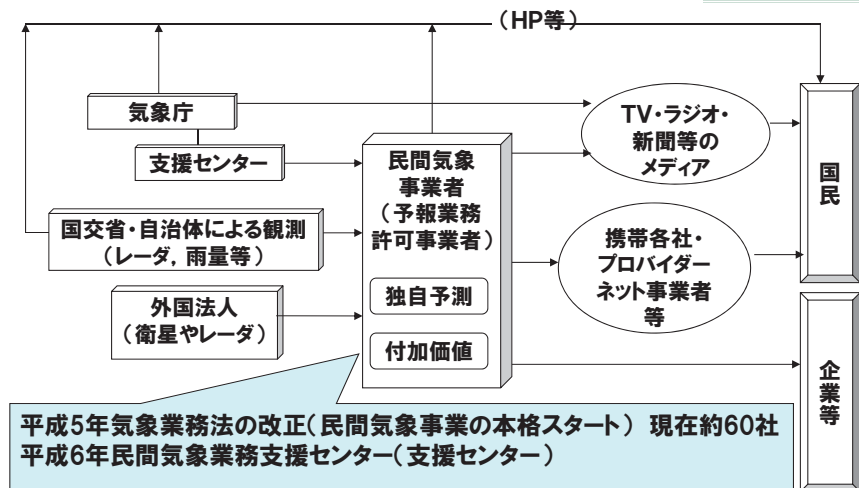
2. 双方向、スマートフォン時代

- －良い素材、スマートフォン、SNSの出会い－
- －出会いの場を創出(民間気象会社の役割)－

3. 今も変らぬ民間気象会社の底力

- －利用者がすぐに反応する良い素材－

1.1 情報の流れと民間気象会社



平成5年気象業務法の改正(民間気象事業の本格スタート) 現在約60社
平成6年民間気象業務支援センター(支援センター)

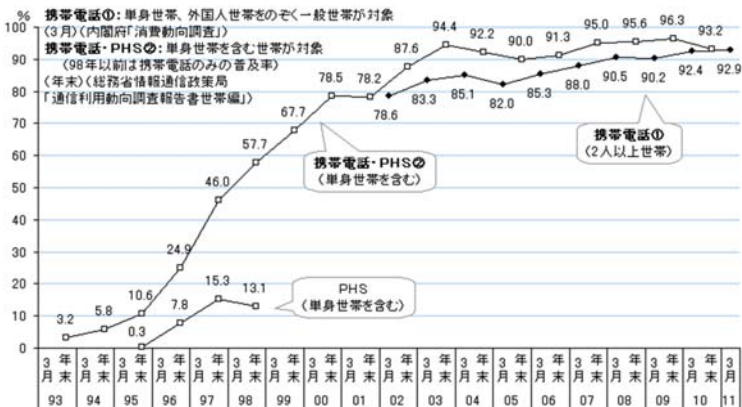
民間気象事業者の役割
多種多様な上流側データの整形と伝達
付加価値サービス

この20年間で役割は
時代と共に大きく変化

1.2 周辺環境の劇的な変化

インターネット、携帯電話の爆発的な普及

携帯電話世帯普及率



(資料) 社会実情データ図録 (<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/>)

民間気象事業の本格的スタート

1.3 もとめられる役割の変化

(1) 主役(主語)の交代

- ✓ 「届ける」時代 → 「欲しいものを取りに行く」時代 → 双方向時代
- ✓ 国・民間気象事業者が主役 → 利用者が主役

(2) 共通的なフォーマットの整備

- ✓ XML等の普及により、中間時の「翻訳」の手間が少なくなった

(3) 開発者⇄利用者の時代

- ✓ よい「素材」を利用者が選ぶ (例えば国土交通省X-MP)
- ✓ 利用者が自ら便利な「アプリ(付加価値)」を作成

伝達、付加価値の役割を大幅に見直す時代

双方向、スマートフォン時代

2.1 良い素材とコンシューマの反応

norit_tanaka nori_tanaka
XバンドMPLレーダが本格運用始まった！急に大雨降ったときとか、とっても便利なんだよね～。river.go.jp/xbandradar/ind...
11時間前

naepyan なえびちゃん
#tenki あ、やっぱりすぐ近くにピンポイントで降雨域、もうすぐここにもやってくるぞです@北大阪 XバンドMPLレーダ雨量情報 river.go.jp/xbandradar/ope...
16時間前

orange_in_space orange
(><) ちょうど関東のXバンドMPLレーダ、片方がメンテ中らしくて、茨城の豪雨ゾーンCバンドレーダでしか見れない><;
16時間前

Souichi20100409 Souichi.T (Shota.H)
やっぱり雨量計はきめ細かな自治区に必要なんだよなあ... ;RT @naepyan: #tenki XバンドMPLレーダ雨量情報では大阪府下で最も激しく雨が降っているのは岸和田市、100mm以上の豪雨のようです。river.go.jp/xbandradar/ope...
16時間前

2.2 スマートフォンとSNSの可能性



良い素材とSNS(Social Networking Service)の「出会い」
国土交通省X-MPを用いたアプリも数多く登場

今も変らぬ民間気象会社の底力 H23年新潟・福島豪雨の事例

2.3 情報を共有する場をより有効に(楽しく)

民間気象会社の新たな役割
出会いの場を楽しく演出
平常時でも集える場、災害時に自助・共助・公助に貢献できる場

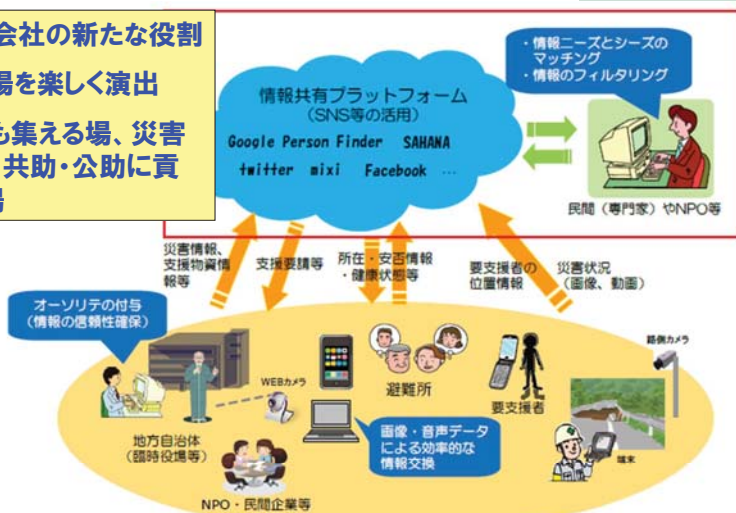
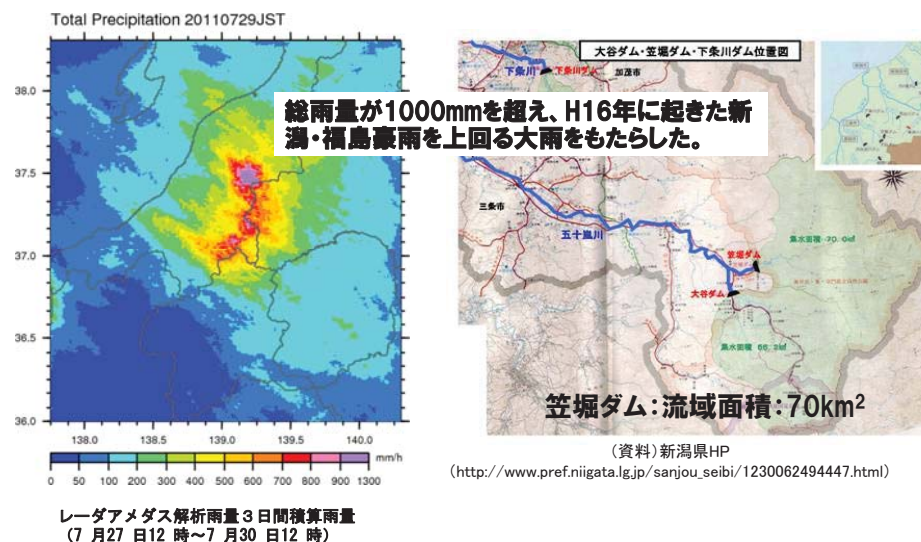


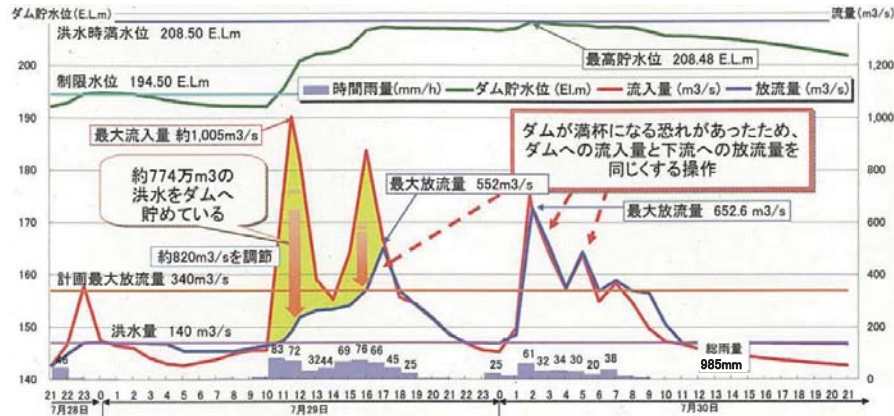
図1 自治体と住民の情報共有イメージ
(出典:土木学会・電気学会「ICTを活用した耐災施策総合調査団報告書」, 2011.7)

3.1 降雨状況



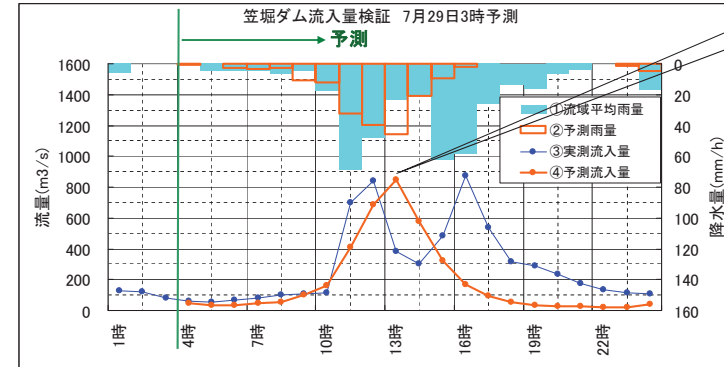
(資料)新潟県HP
(http://www.pref.niigata.lg.jp/sanjou_seibi/1230062494447.html)

3.2 笠堀ダム の状況



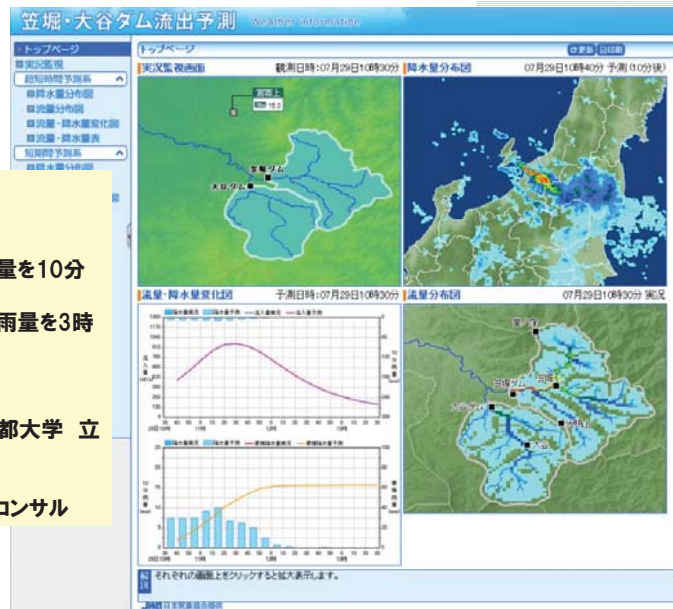
3.4 民間気象会社の降雨・流出予測支援

29日3時の時点の予測 (短期間系予測)



実測流入量843m³/s(12時)に対し、846 m³/s(13時)を予測していた。

3.3 民間気象会社の支援システム

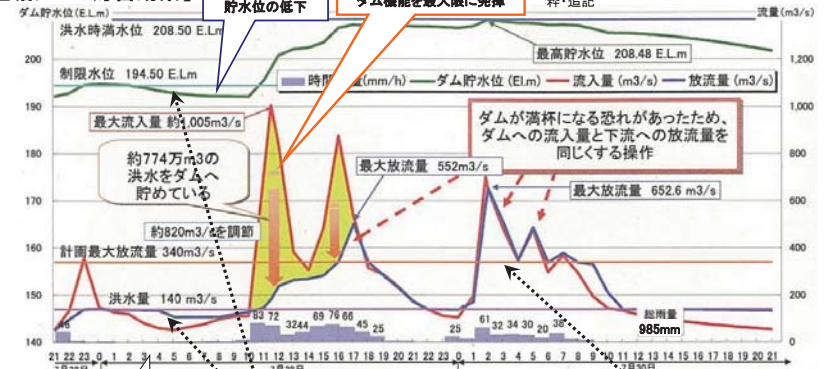


支援情報

- (1)降雨予測
3時間先までは10分雨量を10分更新で提供
36時間先までは1時間雨量を3時間更新で提供
- (2)流出予測
メッシュ型流出予測(京都大学 立川らのモデル)
- (3)気象予報士によるコンサル

3.5 気象会社の底力 モデルと利用者の仲立ち

【笠堀ダムの貯留効果】 事前の貯水位低下によりダム機能を最大限に発揮



【気象情報の活用】

- 29日3時の時点で屋頂に800m³/sの流量を予測
- 予測情報の提供が予備放流の実施判断を支援!
- 断続的に電話による気象コンサルティングを実施し雨量の見通し情報を提供
- 気象コンサルティングの実施
- ダム水位が満杯となる状況下でのダム操作を支援!
- ダム管理者の声:「29日に流量が増加する」という予測情報の裏付けが予備放流の対応に繋がった
- ダム管理者の声:ダム水位が再度上昇する中での今後の雨量の見通し情報が非常に有効だった

ご清聴ありがとうございました